

## 象の鼻テラス開館 10 周年記念企画「フューチャースケープ・プロジェクト」 第三弾：象の鼻パブリックサーカス -自分が「楽しい」を人にふるまってみませんか-

開催日時：2019 年 1 月 19 日（土）13:00-16:30

会場：象の鼻パーク・テラス



パーソナル屋台実施の様子

### 企画第三弾はアイデア考案のヒントとなるイベントを開催！

「パーソナル屋台」を実践する田中元子氏を迎えたレクチャー&ワークショップです。

象の鼻テラスでは、開館 10 周年記念企画として「フューチャースケープ・プロジェクト」がスタートし、2019 年 6 月の「開館 10 周年記念展（仮称）」へ向けて、象の鼻パーク・テラスをより快適で居心地のいい空間にするアイデアを公募しています。

企画第三弾では、応募の参考になるようなイベントを開催。「喫茶ランドリー」（2018 年度グッドデザイン特別賞受賞）の運営が話題の株式会社グランドレベル・田中元子氏を講師に迎え、自身が提唱する「パーソナル屋台」の体験や実践方法のレクチャー、参加者によるアイデア出しまでのワークショップを実施します。

「パーソナル屋台」とは、小さな屋台を持って、あらゆる場所に出発し、道ゆく人に無料で何かを振る舞い、コミュニケーションを図ることで、ひとときの「場」（=マイパブリック）を、浮かび上がらせるプロジェクトです。自分が楽しいことを他人に振る舞うことで、相手も楽しい気分にするを趣旨に実践されており、今までヘアアレンジやマジックの披露、DIY 体験など、様々な振る舞いが行われてきました。

今回のワークショップでは、フューチャースケープ・プロジェクトの公募プログラムに参加するにあたって、アイデア考案のヒントになるよう、「パーソナル屋台」のレクチャーからアイデア出しまで通して学べるとともに、これまでマイパブリックを実践してきたメンバーによる「振る舞い」を実際に体験することが出来ます。イベント参加後にそのままアイデア応募も可能です。

本イベントについて広く周知を図りたく、この機会にぜひ取材・掲載のご検討をお願い致します。

### 取材に関するお問い合わせ

象の鼻テラス 秋山/大越/橋本 E-mail: [press@zounohana.com](mailto:press@zounohana.com)

〒231-0002 神奈川県横浜市中区海岸通1丁目 TEL 045-661-0602 FAX 045-661-0603

（象の鼻テラス公式ウェブサイト）<http://www.zounohana.com> （10周年特設サイト）<http://www.10thzounohana.yokohama>

## イベント概要

タイトル：象の鼻パブリックサーカス –自分が「楽しい」を人にふるまってみませんか

開催日時：2019年1月19日（土）13:00-16:30

### ●パーソナル屋台の見本市 : 13:00-16:30

これまで「パーソナル屋台」を実践してきたメンバーによる振る舞いの見本市。参加費無料。出入り自由で、どなたでも体験できます。

### ●パーソナル屋台 レクチャー&アイデア出しワークショップ : 14:00-16:00

田中元子氏が提唱する「パーソナル屋台」の体験や実践方法のレクチャーと、参加者によるアイデア出しまでのワークショップ。

会場：象の鼻テラス・パーク | 参加費：無料 | 参加方法：事前申し込み \*当日参加可

主催：象の鼻テラス | 共催：横浜市 | プロジェクトパートナー：小泉アトリエ、abanba、ノマドプロダクション

お問い合わせ：象の鼻テラス (045-661-0602/ <http://www.10thzounohana.yokohama>)

\*イベントの詳細は、象の鼻テラス公式ウェブサイト (<https://zounohana.com>) にてご確認ください。

## プロフィール



田中元子 / Motoko Tanaka

株式会社グランドレベル代表取締役/建築コミュニケーター/1975年茨城県生まれ。独学で建築を学び、2004年クリエイティブユニット mosaki を共同設立し、主に建築関係のメディアづくりを行う。2014年よりダイレクトにまちや都市に関わるプロジェクトに重点をシフトさせ、都市の遊休地でキャンプを行う「アーバンキャンプ」や、個人がフリーで振る舞う「パーソナル屋台」ワークショップを全国に展開。2016年「1階づくりはまちづくり」をモットーとした株式会社グランドレベルを設立。2018年墨田区に「まちな家事室」付きの現代版喫茶店「喫茶ランドリー」をオープン。主な著書に『マイパブリックとグランドレベル—今日からはじめるまちづくり』（晶文社）ほか。



大西正紀 / Masaki Ohnishi

1977年、大阪府生まれ。鍵盤楽器の演奏者を断念し、音に関わる仕事に就きたいと、日本大学理工学部建築学科へ入学。間もなく設計デザインの虜となる。2003年、日本大学大学院理工学研究科建築学専攻修士課程修了（高宮研究室所属）、修士設計“駿建賞”受賞。卒業後、渡英。2003-2004年、Ushida Findlay Architects (UK) 勤務。2004年、mosaki 共同設立。学生時代から設計に没頭する傍ら、“良いアイデアは浮かんだらすぐに実行する”をモットーに、スピードを持ってモノゴトを編集、発信することを基本的に活動してきた。溢れるアイデア mosaki のプロジェクトとしてカタチに落とし込むべく企画、編集、ディレクションをホリスティックに束ねながら活動している。

## フューチャースケープ・プロジェクトとは



象の鼻テラスの開館10周年を記念した「パブリックスペース・プロジェクト」。

象の鼻パーク・テラスが利用者にとってより居心地よく、快適な空間になることを目指し、アートにできることを模索するプロジェクトです。快適に過ごすための「アイデア」を、2019年2月11日（月）までアーティスト・市民から公募形式で集め具現化させ、2019年6月に象の鼻パーク・テラスを会場にした展覧会で発表します。

\*象の鼻テラス10周年特設サイト <http://www.10thzounohana.yokohama>

## 象の鼻テラスについて



Photo: Katsuhio Ichikawa

象の鼻テラスは、横浜開港150周年記念事業として、2009年6月2日に開館しました。横浜港発祥の地を、横浜の歴史と未来をつなぐ象徴的な空間として整備した象の鼻パーク内に、アートスペースを兼ね備えたレストハウス（休憩所）として、横浜市の新たな都市ビジョン「文化芸術創造都市クリエイティブシティ・ヨコハマ」を推進する文化観光交流拠点の一つです。開港当時から異文化と日本文化がこの土地で出会ってきたように、さまざまな人や文化が出会い、つながり、新たな文化を生む場所を目指し、アート、パフォーミングアーツ、音楽など多ジャンルのプログラムを開催しています。象の鼻テラスは、横浜市文化観光局の委託により、株式会社ワコールアートセンターが運営しています。